

バインが繋ぐ新たな友好の道 スタスさん拓く

世界をフィールドに大活躍のバインの名手スタスさんと当協会の縁は昨年の秦野パサデナ友好協会 60 周年記念演奏会を機に新たな繋がりに発展しています。

記念演奏会の構想は、2020 年秦野市の訪問団派遣の際に団長(故)相原啓子さんのホームステイ先の近隣に住む秦さんとの出会いが発端となりました。

当時、NASA の研究者であった秦さんは職場の改装工事で休暇中。訪問団の通訳を引き受けることになりました。また、秦さんはスタスさんに師事するアコーディオン奏者でもあり、秦さんと相原さんは共に音楽家。秦野市出身の山田和樹さんの話題に及び、音楽で国際交流の話に発展。スタスさんは 2023 年の大阪国際音楽コンクールのため来日。その際に相原さんの教える秦野曾屋高校で特別音楽授業をされました。誠に不思議な縁が秦野市にスタスさんのバインを運んで来てくれました。日本ツアーのたびに秦野市でも演奏会を開き、バインの魅力を伝えておられます。



聞きなれない「バイン」って?

バインは 20 世紀初頭にロシア帝国で開発された半音階ボタンアコーディオンの一種で、11 世紀の吟遊詩人ボヤンにちなんで名付けられた楽器です。一般的に右手側に 51~61 個、左手側に最大 120 個のボタンが配置され、西洋楽器とは異なる音色を持ち音域も広く、様々なジャンルの曲の演奏ができ、バイン / 台でパイプオルガンのような音やオーケストラのような壮大な音も奏でることができる楽器です。重さも 16.5 キロ、6000 以上のパーツからなるバイン、両手で弾きながら蛇腹で音量を調節し、顎でスイッチを切りかえ、足で楽譜を開くなど、全身を使って音が出せる比較的新しい楽器で、まだまだ、進化する楽器です。



パサデナ音楽交流

秦野パサデナ友好協会

バイン コンサート スタス・ ヴェングレブスキー

スタス オリジナル楽曲

♪ 水無川 ♪
世界初演



Stas Venglevski

2025

9.18(木) 開場 17:00 開演 17:30 終演 19:00

場所: 北公民館多目的ホール

主催: 秦野パサデナ友好協会

共催: 秦野市

特別出演: よさこいゆきみ おから塚喜劇団



スタスさん

モルドバ共和国出身、バヤンを5歳から始め、全国バヤンコンクールで2度の優勝。ロシア音楽アカデミーで修士号取得。1992年に米国ウィスコンシン州に移住、バヤンの普及に務める。作曲家、指揮者、演出家、教育者、様々な役職をこなすなど多彩で多岐にわたる活動は驚異的。世界をフィールドに全米、ヨーロッパ各国、アフリカなどで演奏ツアーを繰り広げ、今年2月のカーネギーホールでの演奏は大好評を博しました。



よさこい ゆきみ

20年の歴史を持つ「よさこいゆきみ」は25人のメンバーを有し、秦野市を拠点に他市他県のイベントに参加。イベント会場ではよさこい踊りを介して他団体との交流を楽しむ♪ 踊りで身体機能を鍛え、表現力をつけ、よさこい衣装を楽しみ、日常生活の大切なスパイスを得ながらずっと、ずっと続けているグループです。

本日は皆さまもこのパワーを存分に浴びて楽しんでください。

Stas Venglevski Concert

第1部

プログラム

♪ **Music for Found Harmonium – Simon Jeffes**
ミュージック・フォー・ファウンド・ハーモニウム(サイモン・ジェフズ)

♪ **Fantasy – Stas Venglevski**
ファンタジー (スタス・ベングレブスキー)

♪ **Silver Stream #2 – Stas Venglevski**
シルバー・ストリーム#2 (スタス・ベングレブスキー)

♪ **Humoresque – Stas Venglevski**
ユーモレスク (スタス・ベングレブスキー)

♪ **La Campanella – Franz Liszt**
ラ・カンパネラ (フランツ・リスト)

よさこい (ゆきみチーム)

第2部

♪ **Russian Medley**
ロシアンメドレー

♪ **Cripple Creek – American Folk Song**
クリップル・クリーク (アメリカ民謡)

♪ **Indifference – Joseph Colombo/Tony Murena**
インディファレンス (ジョゼフ・コロombo/トニー・ミュレナ)

♪ **Rocky Top – Felice & Boudleaux Bryant**
ロッキー・トップ (フェリスとブードロー・ブライアント)

水のない川 (おから塚喜劇団)

♪ **River without Water – Stas Venglevski**
新曲 水無川 (スタス・ベングレブスキー)



秦恵さん

長崎出身でパサデナ市在住の秦さんは、ライフサイエンス、ゲノム生物学、放射線生物を研究されていた根っからの学者。NASAでは月・火星ミッションにおける宇宙放射線の人体影響の研究に従事されていました。その頃アコーディオンをスタスさんに師事、今は演奏のみならず作曲も手掛け、さらにスタス財団を立ち上げ、スタスさんと共に青少年のアコーディオン演奏活動で若者の才能が音楽の世界で輝ける場を提供されています。



おから塚喜劇団

まさに喜劇団、豹変を得意とする役者が揃い、時代錯誤のセリフ、舞台道具の全てが手作り。年に一度の会での英語劇上演を40年以上も続けてきたグループです。以前に秦野市の民話「水のない川」を上演したところ思わぬ広がりを見せ、東海大学や本町公民館などで出前上演。さらに広がりは秦野市からパサデナ市へ！ 思いもよらず、アメリカ上陸が現実になりそうです。